

# 湛水直播管理情報 (第1号)

～ 湛水表面直播(鉄コーティング) ～

平成31年4月12日  
アルプス農協管内農業技術者協議会



## 1. 種子の準備 ～発芽率の確認を必ず行う！！～

- ・コーティング直後の種子は、発熱による発芽率の低下の危険があるので、すぐに苗箱等に薄く広げ、十分に乾燥させてから保管しましょう。
- ・播種前に必ず種子の発芽率を確認しましょう。

## 2. 圃場の準備 ～適切な圃場の硬さに仕上げる！！～

- ・畦畔からの漏水を防止し除草剤の効果を高めるため、畦塗りを行いましょう。
- ・圃場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生し、生育不揃いの原因になります。**耕起前に田面の高低差を直す**とともに、**耕起～砕土・整地の作業は移植より丁寧**に行いましょう。
- ・代かきは水を少なめに行い、稲株や雑草をしっかりすき込みましょう。また、練りすぎに注意し、播種作業に適した硬さに仕上げましょう(表1参照)。

表1 代かき時期の目安

土質	時期の目安
砂壤土	播種3日前程度
壤土	播種5日前程度

## 3. 基肥量の目安(コシヒカリ) ～倒伏に注意！！～

- ・倒伏防止のため、**移植栽培よりチツソ成分で1.0～1.5kg/10aの減肥を目安**に施用しましょう。

表2 施用量の目安

土壌区分	肥料名	施用量
砂壤土	LPss 直播コシヒカリ (N-P-K=21-14-14) または 鉄コート直播コシヒカリ専用 (N-P-K=22-5-20)	32kg/10a 程度
壤土・黒ボク		28kg/10a 程度
粘質土		23kg/10a 程度

鉄コーティング直播は播種深度が浅く、他の播種方式より倒伏に弱い傾向があるので、過剰施肥に注意!



## 4. 播種 ～施肥溝が埋まらない程度の硬さで播種する～

- ・適正な播種作業により、**目標苗立本数 60本/m<sup>2</sup> (18本/m) 程度**を確保しましょう。

### (1) 播種適期と播種量

表3 播種の目安

播種適期	4月25日～5月10日
播種量	乾粒で 3.0kg/10a 程度 (コーティング済み種子で5kg程度)



圃場の硬さにあわせて、フィットセンサダイヤルを調整しましょう。

### (2) 播種時の土の硬さ

播種時の圃場の硬さは、**種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度(図1)**としましょう。

適正



種子がピタッと張り付き、施肥溝が埋まらない程度の硬さ。



- 種子が見える
- 施肥溝が残り、肥料の粒が見える

カルパーを使用しないため、土中に埋まると発芽率が確実に低下します!



- ▲ 種子が埋まっている
- ▲ 施肥溝が埋まる

不適



図1 鉄コーティング種子播種時の土壌硬度の目安

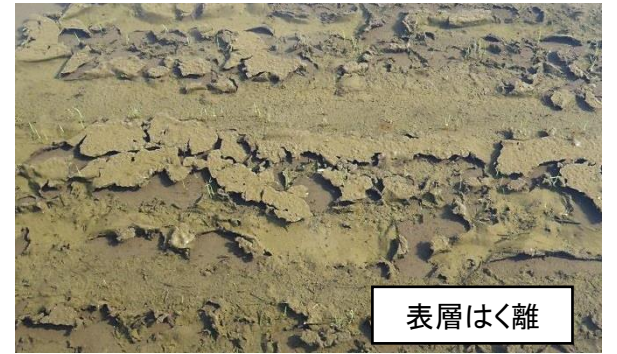


## 5. 播種時・播種後の水管理 ～適切な水管理により苗立ちを良好にする！～

・ 出芽促進と、初期除草剤の効果をもとめるため、水管理は以下の手順で行いましょう（図2参照）。

- ① 代かき後、自然落水した状態で播種します。
- ② 播種作業が圃場の3分の2程度終わった頃にゆっくり入水します。
- ③ 播種終了後、5～7日は水深5cm程度の湛水管理を行います。
- ④ 自然減水した後は飽水管理とし、ヒタヒタ水の状態にして出芽させます。
- ⑤ 出芽後もイネ1葉期まで飽水管理を続け、その後入水します。

※**表層はく離**（表土が膜状に浮き上がる現象）が発生したら、田干しを行います。



表層はく離

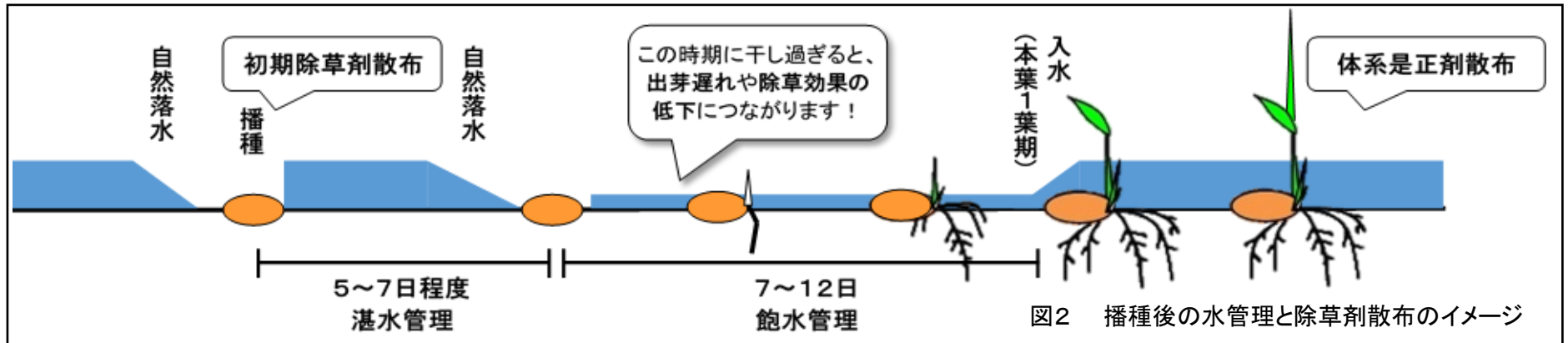


図2 播種後の水管理と除草剤散布のイメージ

## 6. 鳥害対策 ～鳥害に要注意！！～

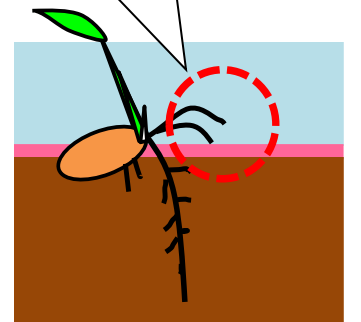
- (1) できるだけカラスの飛来が少ない圃場を選定しましょう。
- (2) **スズメの食害は2葉期頃まで**注意し、侵入した場合は速やかに**湛水**してください。
- (3) **カモの食害は3葉期頃まで**注意し、侵入した場合は速やかに**落水**してください。
- (4) 鳥害が予想される場合は、**圃場に水系を張る**など、予防対策を行いましょう。

## 7. 雑草防除 ～必ず初期剤を散布する！！～

鉄コーティング直播は出芽苗立ちまで時間がかかるため、「**初期剤+体系是正剤**」の体系で除草しましょう。

播種後日数(目安)	
<b>播種時</b> プレキープ1キロ粒剤 プレキープフロアブル	20～25日間程度 → ビッグシュアース1キロ粒剤 サラブレッドRXフロアブル バッチリ1キロ粒剤
<b>播種時</b> ボデーガードプロ1キロ粒剤	雑草発生状況を確認し、次の除草剤を散布しましょう。

鉄コ直播は、種子が土壌表面にあるため、根が露出しやすく、薬害のリスクが高い！



薬害回避のため、2回目の除草剤（体系是正剤）は、**イネ2葉期（根が土壌に貫入する）頃**に散布しましょう。

表4 除草剤一覧

除草剤名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
プレキープ1キロ粒剤	播種時、または播種直後～ノビエ1葉期 (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a	湛水散布	1回
プレキープフロアブル		500ml/10a		
ビッグシュアース1キロ粒剤	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a		1回
サラブレッドRXフロアブル	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	500ml/10a		1回
バッチリ1キロ粒剤	イネ出芽揃期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a		1回
ボデーガードプロ1キロ粒剤	播種直後～ノビエ3.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a		1回

### 【ノビエの発生が極めて多い場合】

初期剤を散布した後、初中期一発除草剤を散布するまでの間にヒエが多発した場合は、**クリンチャー1キロ粒剤(播種後10日から使用可能)**を散布しましょう。



ヒエが多発した圃場